

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月12日

上場会社名 株式会社 エストアー
 コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CC担当 (氏名) 柳田 要一
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 大

TEL 03-3595-1106

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	1,585	—	210	—	211	—	114	—
20年3月期第2四半期	1,414	5.6	212	77.5	215	62.7	122	156.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	2,460.19	—
20年3月期第2四半期	2,617.68	—

(注)21年3月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、期中平均株価が新株予約権の行使価格より低く、1株当たり四半期純利益が希薄化しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	2,654	1,363	51.4	29,229.98
20年3月期	2,501	1,326	53.0	28,425.51

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,363百万円 20年3月期 1,326百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1,500.00	1,500.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

20年3月期期末配当金の内訳 普通配当 1,100円 記念配当 400円

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 51,636株 20年3月期 51,636株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 4,982株 20年3月期 4,982株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 46,654株 20年3月期第2四半期 46,654株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当社では、当事業年度を、顧客数に応じた収入（ストック）から顧客の売上高に応じた収入（フロー）への収益構造切り替えの元年と位置付けており、そのための準備を前事業年度より進めてまいりました。当第2四半期累計期間においては、その一層の強化を目的として、① 当社顧客の集客を促進する「ショッピングフィールド」の高速化や送客増強のための各種施策、② Eコマース成功パッケージ「ショップサーブ」の積極的な販売促進活動、③ 早期開店により「売れる」ウェブショップ作りを実現する安価なページ制作の提供、の3点に重点をおき人的資源及び機材の投下を行いました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における当社サービス全体での新規契約件数は5,447件、累計契約件数は46,650件となり、販売促進活動による直販契約件数の順調な推移や、決済代行売上の増加などにより、売上高は1,585,201千円（前年同期比12.1%増）、営業利益は210,374千円（前年同期比0.8%減）、経常利益は211,682千円（前年同期比2.0%減）となりました。なお、当第2四半期累計期間においては、フロー構造の構築のための積極的な投資を予定通り消化し、期初に見込んだ計画通りの利益率となっております。また、特別損失として投資有価証券評価損15,464千円を計上したために、当四半期純利益は114,777千円（前年同期比6.0%減）となりました。

第3四半期以降につきましても、順調に立ち上がっているフロー収益の加算策にむけて、引き続き、積極的な人的資源及び機材の投下と、中長期的な戦略としての「ショッピングフィールド」「ショップサーブ」をはじめとする顧客の売上増大のための施策を進めるとともに、上期に投下したコストを活かし、より多くの顧客店舗の成功事例を作り、当社収益の増加を目指してまいります。

なお、今後の景気動向については予断を許さないものの、創業理念通りに「小×多」の事業構造の展開を続けていることから、現時点においての不況による影響は皆無である事を確認しており、また、今後も大きな影響はないと考えております。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

(サービス事業)

当第2四半期累計期間のサービス事業の売上は1,355,303千円（構成比85.5%）となり、その主な内訳は、オプションを含め「レンタルサーバー」606,545千円、「ストアツール」98,584千円、「ショップサーブ」587,816千円となっております。

(受託事業)

当第2四半期累計期間の受託事業の売上は229,897千円（構成比14.5%）となり、その主な内訳は、平成16年7月の株式会社テレウェイヴとの業務提携に基づく同社グループの技術部門の業務（ITサービスの構築と運営）受託と、OEMによる供給を行ったことによるものです。

(主要サービス別契約件数の四半期推移)

Eコマース用レンタルサーバー件数推移 (サイトサブ+サイトサブ2)

	平成20年3月期 第2四半期	平成20年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第4四半期	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期
新規契約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	302 (117) (185)	244 (98) (146)	215 (92) (123)	168 (66) (102)	161 (55) (106)
解約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	1,099 (397) (702)	976 (368) (608)	936 (349) (587)	933 (283) (650)	902 (265) (637)
累計件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	19,530 (5,924) (13,606)	18,798 (5,654) (13,144)	18,077 (5,397) (12,680)	17,312 (5,180) (12,132)	16,571 (4,970) (11,601)

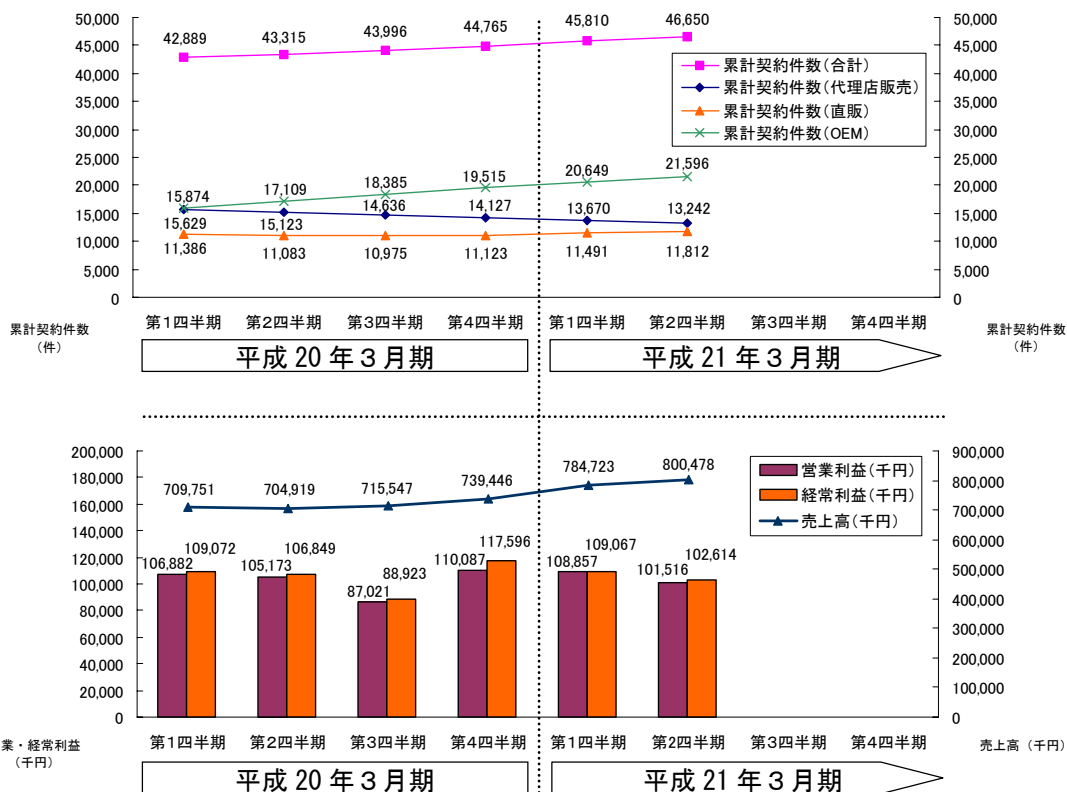
ショッピングカートASP件数推移 (ストアツール)

	平成20年3月期 第2四半期	平成20年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第4四半期	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期
新規契約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	66 (59) (7)	32 (30) (2)	27 (26) (1)	16 (14) (2)	16 (13) (3)
解約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	112 (50) (62)	85 (59) (26)	78 (55) (23)	115 (80) (35)	79 (52) (27)
累計件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	1,439 (920) (519)	1,386 (891) (495)	1,335 (862) (473)	1,236 (796) (440)	1,173 (757) (416)

ウェブショップ総合支援件数推移 (ショップサブ+ショップサブ2)

	平成20年3月期 第2四半期	平成20年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第4四半期	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期
新規契約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	372 (245) (127)	480 (415) (65)	805 (682) (123)	1,087 (907) (180)	1,061 (864) (197)
解約件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	312 (264) (48)	286 (228) (58)	303 (243) (60)	312 (256) (56)	348 (280) (68)
累計件数 (内 直販件数) (内 代理店販売件数)	4,049 (3,153) (896)	4,243 (3,340) (903)	4,745 (3,779) (966)	5,520 (4,430) (1,090)	6,233 (5,014) (1,219)

(契約件数と売上・利益の四半期推移)



2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は2,654,535千円となり、前事業年度末比で152,880千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における財政状態の変動状況は次のとおりです。

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で152,880千円増加し、2,654,535千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加97,037千円、ソフトウェア開発等による無形固定資産の増加41,811千円、投資有価証券の再評価等による減少19,583千円によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で115,348千円増加し、1,290,840千円となりました。これは主に、当社顧客の決済代行に伴う預り金の増加135,459千円、買掛金の増加15,329千円、前受金の減少17,508千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で37,531千円増加し、1,363,695千円となりました。これは、平成20年3月期の配当金が69,981千円あったものの、当第2四半期純利益として114,777千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は51.4%（前事業年度末比1.6ポイント減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ97,037千円増加し、1,483,222千円（前事業年度末比7.0%増）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は256,880千円（前年同期は252,677千円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益196,040千円、当社顧客の決済代行額等の増加による預り金の増加135,459千円、法人税等の支払に伴う減少83,807千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は90,225千円（前年同期は118,413千円の減少）となりました。これは主に、サーバー購入等による有形固定資産の取得に伴う支出48,557千円、ソフトウェア開発等による無形固定資産の取得に伴う支出33,538千円、関係会社株式の取得に伴う支出8,130千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は69,622千円（前年同期は44,017千円の減少）です。これは、配当金の支払によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,222	1,386,184
売掛金	360,893	347,339
たな卸資産	13,601	13,512
前渡金	1,954	6,277
その他	124,128	111,912
貸倒引当金	△6,430	△5,877
流動資産合計	1,977,369	1,859,349
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	188,494	178,306
その他(純額)	8,067	8,785
有形固定資産合計	196,561	187,092
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	253,646	273,230
敷金	92,861	92,861
その他	53,541	94,594
貸倒引当金	△10,000	△54,217
投資その他の資産合計	390,049	406,469
固定資産合計	677,166	642,305
資産合計	2,654,535	2,501,655
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,584	71,254
未払金	101,894	101,953
未払法人税等	76,698	86,770
賞与引当金	41,864	38,805
前受金	118,720	136,229
預り金	841,180	705,721
その他	23,896	34,756
流動負債合計	1,290,840	1,175,491
負債合計	1,290,840	1,175,491

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,408	539,408
利益剰余金	961,062	916,265
自己株式	△661,116	△661,116
株主資本合計	1,362,683	1,317,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,012	8,276
評価・換算差額等合計	1,012	8,276
純資産合計	1,363,695	1,326,163
負債純資産合計	2,654,535	2,501,655

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	1,585,201
売上原価	783,903
売上総利益	801,298
販売費及び一般管理費	590,923
営業利益	210,374
営業外収益	
受取利息	493
受取配当金	163
雑収入	683
営業外収益合計	1,340
営業外費用	
雑損失	33
営業外費用合計	33
経常利益	211,682
特別損失	
固定資産除却損	176
投資有価証券評価損	15,464
特別損失合計	15,641
税引前四半期純利益	196,040
法人税、住民税及び事業税	73,659
法人税等調整額	7,603
法人税等合計	81,262
四半期純利益	114,777

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	800,478
売上原価	405,212
売上総利益	395,265
販売費及び一般管理費	293,748
営業利益	101,516
営業外収益	
受取利息	402
受取配当金	149
雑収入	552
営業外収益合計	1,104
営業外費用	
雑損失	6
営業外費用合計	6
経常利益	102,614
特別損失	
固定資産除却損	176
投資有価証券評価損	1,868
特別損失合計	2,045
税引前四半期純利益	100,569
法人税、住民税及び事業税	55,943
法人税等調整額	△14,375
法人税等合計	41,567
四半期純利益	59,002

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	196,040
減価償却費	47,725
貸倒引当金の増減額(△は減少)	553
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,058
受取利息及び受取配当金	△657
為替差損益(△は益)	△4
有形固定資産除却損	176
投資有価証券評価損益(△は益)	15,464
売上債権の増減額(△は増加)	△31,062
仕入債務の増減額(△は減少)	19,651
未払金の増減額(△は減少)	△17,146
預り金の増減額(△は減少)	135,459
その他の資産の増減額(△は増加)	△18,004
その他の負債の増減額(△は減少)	△11,225
小計	340,030
利息及び配当金の受取額	657
法人税等の支払額	△83,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△48,557
無形固定資産の取得による支出	△33,538
関係会社株式の取得による支出	△8,130
貸付けによる支出	△8,000
貸付金の回収による収入	8,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△69,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97,037
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,222

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
I 売上高	1,414,670	100.0
II 売上原価	684,505	48.4
売上総利益	730,165	51.6
III 販売費及び一般管理費	518,109	36.6
営業利益	212,056	15.0
IV 営業外収益	4,046	0.3
V 営業外費用	180	0.0
経常利益	215,921	15.3
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失	7,038	0.5
税引前中間純利益	208,883	14.8
法人税、住民税及び事業税	85,528	
法人税等調整額	1,230	86,758
中間純利益		122,125
		8.6

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	208,883
減価償却費	52,501
貸倒引当金の減少額	△824
賞与引当金の増加額	11,336
受取利息及び受取配当金	△2,843
為替差損	1
投資有価証券売却益	△580
投資有価証券売却損	175
無形固定資産除去損	1,790
投資有価証券評価損	1,725
売上債権の減少額	36,163
仕入債務の増加額	9,998
未払金の減少額	△12,820
預り金の増加額	74,806
その他の資産の減少額	1,944
その他の負債の減少額	△8,422
小計	373,835
利息及び配当金の受取額	2,554
法人税等の支払額	△123,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	252,677
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△56,846
無形固定資産の取得による支出	△15,251
投資有価証券の取得による支出	△57,886
投資有価証券の売却による収入	4,305
関係会社株式の売却による収入	2,850
貸付けによる支出	△20,000
貸付金の回収による収入	24,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,413
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△44,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,017
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
V 現金及び現金同等物の増加額	90,245
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,245,069
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,335,315